

新医療センター

一般病床20床で本当にいいの??

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

奥州市新医療センター検討懇話会の第2回会合が、10月30日市役所本庁で開かれました。地域医療奥州市モデルのコンセプトと水沢公園陸上競技場を最適地とすることについて、当局の説明と意見交換がありました。

公募市民や団体代表者ら13

人で組織する同懇話会は、10月6日に設置され、周産期医療のあり方について話し合われました。2回目の今回は、同センターの医療機能・病床規模・設置場所の案が当局より示され、これらをテーマに意見交換されました。

病床規模

病床種別	総合水沢病院	新医療センター
一般病床	121床(71床)	20床程度
地域包括ケア病床	24床(24床)	20床程度
回復期リハ病床	—	40床程度
計	145床(95床)	80床程度

※ 水沢病院は現在50床休床しており()内は稼働中の病床数を表します。

一般病床20床では

少ないのでは?

特に病床数は、一般20床、地域包括ケア20床、回復期リハビリ40床の計80床程度が想定されています。

ある委員からは、一般病床20床では少なすぎて市民が安心して利用できないし、感染症や災害時の対応、救急用など、公的医療機関として余裕のある病床数が求められると述べました。また、分娩施設を加えることができるよう、予備のベッドや緩和ケア病床の設置を求める意見も出されました。

担当者は、病床数の余裕数について検討していくと述べました。

交通渋滞が心配

設置場所については、賛成がほとんどでした。しかし、水沢公園周辺は今でも朝夕中心に渋滞しやすい場所です。さらに渋滞が悪

化することが予想され、公園西側の道路の4車線化、進入口の複数化などが、委員から提案されました。また、駐車場不足や公園周辺の地域住民への説明不足が指摘されました。

担当者は、新医療センター建設を、150年を迎える水沢公園のリニューアルに合わせて、まちづくり・にぎわいを創生していくと述べました。



新医療センター建設予定地の水沢公園陸上競技場

市民に安心を与える

医療施設に

傍聴した市民は、「いったん示された医療施設の統廃合の白紙化及び老朽化した病院の改築は、全国的にみて稀なことと評価されている。一般病床数を増やすことなど、市民に安心を与える医療施設になるように求めている」と語っていました。

来年度からの学校給食費の値上げに反対し、市として支援することを求める署名にご協力ください

このままでは、新年度から学校給食費が値上げに……

奥州市教育委員会は、相次ぐ給食材料費の高騰に伴い、給食費値上げの検討を行っています。このままでは、小学校は年間4,000円、中学校は4,100円の引き上げになります。

※署名用紙の必要な方、署名記入いただいた方は、最寄りの党員か議員、各共産党事務所までお届けください。

日本共産党奥州市委員会

電話：24-2021

FAX：24-2049

大阪万博建設労働者の
残業規制の除外 許すな!

日本共産党
衆議院議員
高橋千鶴子

10月31日

建築関係の国際的な労働組合UITBB(建築インター)のミカリス・パニコラフ書記長が来日、懇談しました。

日本から国土交通労働組、建交労、都市労が加盟。ミカリス書記長は冒頭、イスラエル・パレスチナ問題に言及。

日本共産党の中東和平についての立場についても説明。

ミカリス書記長はキプロス出身。ミカリス書記長から、

出身。ミカリス書記長から、

大阪万博での労働条件について質問がありました。東京オリ・パラのときも過労死事案がおきており、今回もスケジュールが押して来る中で、残業規制除外の要望がでていることなどを報告。2024年問題も、本来の人間らしい働き方にしていきたいと訴えました。

